2022年10月10日

第 156 号

Björk

－ビョルク（白樺）－

８月29日（月）に下川町で開催されたクップ体験会/講演会の様子。下川町教育委員会の依頼でＳＣＦスタッフが現地に赴き、体験会や講演会を通じてクップの遊び方やその魅力、スウェーデンの文化についてお話してきました（関連記事６ページ）。

寄稿『脱化石燃料に欠かせない、洋上風力発電で住民投票』 …………………… レーナ・リンダル　2

ＳＣＦレポート「下川町　クップ体験会/講演会報告」 …………………… 6

連載寄稿「ソフィア・ヤンベリの『スウェーデン便り』②」 …………………… ソフィア・ヤンベリ　8

ＳＣＦレポート「明治大学国際日本学部　鈴木研究室ヒルズ訪問」 …………………… 10

広報誌「ビョルク」これまでのあゆみ⑥ …………………… 12

一般財団法人スウェーデン交流センター（理事長　内野　貢）

〒061-3777　北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ２３２９－２５

http://www.swedishcenter.or.jp/　　e-mail：info@swedishcenter.or.jp

ＴＥＬ　０１３３-２６-２３６０　ＦＡＸ　０１３３-２６-２９９２

去る９月 11 日（日）に、スウェーデンで総選挙がおこなわれたことをテレビやインターネットの記事などで目にした方もいらっしゃるのではないでしょうか？この結果、特に移民問題は大きく方向性が変わる可能性があると言われているのですが、それ以外にもスウェーデン経済・社会政策の変化にスウェーデンの国民は大きな関心を寄せています。

今回はその中でも、昨今のウクライナ情勢も含め大きな関心を寄せている電力事情…とりわけ今後の再生可能エネルギーの手段として注目されている洋上風力発電について、日本に長く住んだ経験から、日本人にスウェーデンの今を伝え続けているレーナ・リンダルさんに現地の状況を伝えていただきます。

寄稿

脱化石燃料に欠かせない 洋上風力発電で住民投票

レーナ・リンダル

セーデルハムン市の住民投票

今年９月 11 日（日）、４年に一度のスウェーデン総選挙が行われました。スウェーデンは国会と全国の県議会、市議会が同じ投票日です。夏の休暇から皆が帰ってくる頃の８月半ばに各政党の選挙キャンペーンが忙しくなり、選挙ポスターが道沿いに並んで、市民が広場や駅前に並ぶ各政党の「選挙小屋」に集まり議論をしていました。メディアも選挙の報道でいっぱいになりました。

選挙運動の盛り上がりの中であまり注目されない選挙区もありました。その中の一つセーデルハムン Söderhamn という 25,000 人の自治体で、洋上風力発電所の設置についての住民投票が行われました。セーデルハムン市はストックホルムから北へ 250km のバルト海の海岸線に位置しています。

セーデルハムン市の住民投票は全国メディアではあまり注目されなかったのですが、国のエネルギー政策に深く関係しています。スウェーデンの国会は 2040 年までに国内の発電を 100%再生可能な電源にしようという目標を採択しています。パリ協定の目標を達成するために 2045 年までにカーボンニュートラルの国になろうという目標も立てています。スウェーデンの温暖化ガス排出を大幅に削減するために、北部地域を中心に新たな産業開発が進められています。電気自動車のためのバッテリーを生産する工場や化石燃料の代わりに水素を使う製鉄工場の計画などが進行しています。全国でガソリン車を電気自動車に切り替えるトレンドも早く進んでおり、脱化石燃料を推し進めるためには大量の電気が必要です。2050 までに今の２倍ぐらいが必要だと言う予測もある中で、電源開発が社会変化を起こす原動力の一つになっています。

Foto:Söderhamnskommun https://www.soderhamn.se/sidor/kommun-och-politik/folkomrostningar-2022.html

再生可能な電源の中で一番期待されているのは風力発電です。スウェーデン送電事業公社（Svenska Kraftnät）が電力システムの長期的な発展の見通しをいくつかのシナリオにまとめています。その中で、脱化石燃料のための産業開発が予定通りに進めば、そして再生可能な電源だけに頼った場合のシナリオを表しています。そのシナリオによると、一番頼りにできるのは風力で、陸上風力の拡大の後に、洋上風力がもっと拡大して 2050 年までにスウェーデンの一番大きな電源になっています。

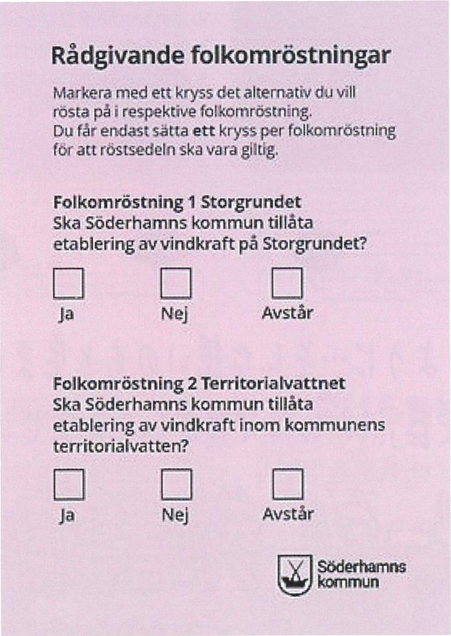
スウェーデンは 100% 再生可能電源を目指しながらも、原発を禁止しているわけではありません。６基の原子炉がまだ使われています。しかし、100% 再生可能な電源を目指すこのシナリオでは、2040 年頃に廃止される見通しになっています。政府は原発の開発を市場に任せていて、エネルギー会社による新しい原発計画がない状況です。

セーデルハムン市は、洋上風力の設置に適した海域を持っているので、スウェーデンの脱化石燃料、再生可能エネルギー 100%の目標を達成するための大きな役割を果たすと見られるようになりました。しかしそこに住む住民の意見は分かれています。投資や雇用の機会を歓迎して前向きに考える人もいますし、大切にしている海の景観の破壊や観光業への影響、自然破壊などを心配する人もいます。

スウェーデンでは多くの風力発電所建設プロジェクトが計画中、進行中ですが、セーデルハムン市はなぜ住民投票を行うことになったのでしょうか。それは反対する多くの住民が動いたからです。スウェーデンでは、市民が市議会に直接提案して、住民投票を求めれば市議会は住民投票の実施を決めることできます。スウェーデンの地方自治体法（kommunallagen）には市民のイニシアチブ（folkinitiativ）と言うものがあり、有権者が市議会に住民投票を求めるためには、市の有権者の 10％の署名を集める必要があります。セーデルハムン市では、洋上風力に反対している有権者が 3,000 人以上の署名を集めて住民投票を実現させました。

スウェーデンの住民投票は、その投票結果が直接何か政策を決定するものではなく、市議会が参考にするものです。市議会は住民投票に従う義務はないので、結果に反する決定ができるのですが、一般的に民主主義の視点からよくないと思われています。

9月 11 日に行われた住民投票では、１問だけではなく２問もあったので、正確にいうと二つの住民投票が同時に行われたことになります。１票に二つの質問が並んでいました。それらに Ja(=Yes) か Nej(=No) か Avstår (=棄権) を答えることになっていました。



Rådgivande folkomröstningar

Markera med ett kryss det alternativ du vill rösta på i respektive folkomröstning.
Du får endast sätta **ett** kryss per folkomröstning för att röstsedeln ska vara giltig.

Folkomröstning 1 Storgrundet
Ska Söderhamns kommun tillåta etablering av vindkraft på Storgrundet?

☐ Ja ☐ Nej ☐ Avstår

Folkomröstning 2 Territorialvattnet
Ska Söderhamns kommun tillåta etablering av vindkraft inom kommunens territorialvatten?

☐ Ja ☐ Nej ☐ Avstår

Söderhamns kommun

Foto:Söderhamnskommun https://www.soderhamn.se/sidor/kommun-och-politik/folkomrostningar-2022.html

1. セーデルハムン市は、Storgrundet での洋上風力発電所の設置を許すべきですか。
2. セーデルハムン市は、市の海域内に洋上風力発電所の設置を許すべきですか。

一つ目の項目については、Storgrundet というのは市の海域内にある浅瀬です。住民投票は場所と海域を巡るものですが、その背景に具体的な計画があります。

Storgrundet では、海岸線から 11 kmのところで、高さ 290 メートルの風車（WPD offshore 社製）51 基を設置の計画があります。すでに 2011 年に土地・環境裁判所から許可が出ており、その許可は 2026 年まで有効です。市も住民投票もその許可を取り消すことができません。

二つ目の住民投票は海域全体を対象にしていますが、“Gretas Klackar 2”という計画があります。このプロジェクトは海岸線から 25km のところの洋上で、高さ 300 メートルの風車（Svea vind offshore 社製）62 基を設置するという計画です。

住民投票は 70% という高い投票率でおこなわれ、両方の計画に反対という結果になりました。

セーデルハムン市でおこなわれた住民投票結果

	Yes	No	棄権	投票率
質問 1	35,33 %	54,95 %	9,72 %	71,82 %
質問 2	36,96 %	52,13 %	10,92 %	71,82 %

スウェーデンの環境法典に基づき、自治体は、環境に大きな影響を与える風力発電所のような大プロジェクトに反対して止める権利があります。これは自治体の拒否権（veto）と言います。

この拒否権を行使するか否か、現在も市議会の政党は対立しています。途中で立場を変えた政党もあるのでその現状はとても複雑になっています。計画の内容も、風車の数やサイズなど、計画を進めている間に変わっているので問題はさらに複雑になっています。今年１月 31 日、市議会は一度その拒否権を使うことを決めましたが、４月 25 日に開かれた市議会は、Storgrundet の計画について拒否権を使わないで推進することを決めました。計画に反対だったのは、穏健党、キリスト民主党、リベラル党、スウェーデン民主党でした。計画に前向きな政党は中央党、左党、社民党と環境党でした。住民投票の実施も決定しました。そして Gretas Klackar 2については住民投票の結果を待つことにしています。

住民投票の結果を受けた関係者のコメントがメディアで紹介されています。

Storgrundet で許可をもらっている WPD offshore 社：

10 年前から許可が出ているし、市議会も一度拒否権を使わないことを決めているので、その路線で計画を進めようと考えている。

Gretas Klackar2を計画している Svea vind offshore 社：

計画を進めるつもりだ。

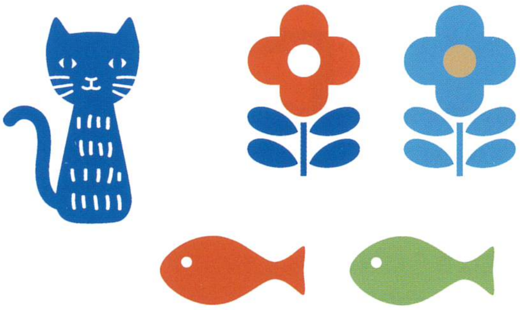
住民投票を推進した市民：

市民の声を聞いてほしい。海岸線よりもっと遠いところに設置するのが良いと提案。

住民投票の結果を受けてはっきりした方針を話す政治家はあまりいないようですが、地元の新聞紙 Söderhamns-kuriren によると、投票率が高かったことで皆が喜んでいます。

同新聞が住民投票の前に各政党に「住民投票の結果に従うつもりですか」とのアンケートを行っています。政党の返事はさまざまです。Yes と答えるのもあるし、曖昧な返事もあります。投票率が低いなら頼りにできないと言う意見や、住民投票が Yes になっても No の立場で続けて頑張ると言う政党もあります。

総選挙の結果によって市議会の構成が変わります。議席の新しい配分に合わせて新しく連立政権を組む必要があります。秋に選挙後の市議会が開かれるのですが、住民投票の結果に従うかどうか、各政党の判断が注目されます。しかし 9 月 26 日に開かれる選挙後最初の市議会はなぜか 10 月 16 日まで延期されています。洋上風力発電についての結論が出るのはまだしばらく時間がかかりそうです。



おわりに

最後に全国レベルの選挙キャンペーンの内容を少し紹介します。ウクライナ戦争とエネルギー危機で電力料金が異常に高くなっている中の選挙でした。有権者が高い電気代で悩んでいて、電力供給が全国的に大きなテーマになりました。その中で保守側は、国のサポートで新しい原発を立てようと、原発に非常に前向きな立場をとりました。スウェーデンは現在、原発の新設は法律上許されていますが、それは原発がすでに立っている場所だけです。保守側が考えているように、他の場所での建設を許すことになったら、そこの住民はどんな反応をするのでしょうか。電源開発はどの道を進んでも時間がかかりそうです。寒い冬が近づいてきている現時点は、安い電力を豊かに持っていたスウェーデンでも、まずは節電することになりそうです。

ご寄稿者紹介… レーナ・リンダル
Lena Lindahl

スウェーデン生まれ、ウプサラ市在住。1989 年～ 2013 年の 24 年間、東京在住。1996 年以来、スウェーデンの環境政策や企業、自治体、市民のサステナビリティーに向けた取り組みを日本向けに紹介。視察旅行、通訳、講演、国際プロジェクトのコーディネート、映像、文書、オンライン会議のファシリテーションなどを提供している。

Bunne Music

誰もが気軽に音楽が楽しめるように…そんな想いのもと生まれた
スウェーデンの楽器「ブンネ楽器」、みんなで演奏してみませんか？

スウェーデン交流センター ブンネサークル 参加者募集中！

スウェーデン交流センター　センターホール2階にて（参加費無料）

※月1回程度、土曜午後に1時間～1時間半程度で開催します。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開始時期が遅れる場合がございます。

※基本活動費は無料ですが、別途講習会に参加する場合は講習費が必要となる場合がございます。

音楽は好きなんだけど、「楽器はやったことない…」「音符とか楽譜は読めない…」そんな方大歓迎です！
もちろんスウェーデンが好きな方、楽器が弾ける方も是非お越しください！ 一緒にブンネ楽器を始めましょう！
スウィングバーギター、ミニベース、単音フルート（全音）、チャイムバー（全音）各種あります。楽器を見てみたいという方はスタッフまでお声がけください。

サークル参加申込や見学申込、ブンネ楽器などお問い合わせは、一般財団法人スウェーデン交流センター
メール info@swedishcenter.or.jp またはお電話 0133-26-2360（担当：高松）にて承ります。

スウェーデン交流センターのオンラインショップができました！

mycket
ミュッケ

https://mycket.stores.jp

mycket オンラインショップ

　スウェーデン交流センターでのお買い物が、ＰＣ・スマホからもお楽しみいただけるようになりました！「ミュッケ」オンラインショップでは、ＳＣＦガラス工房のガラス作品やスウェーデン直輸入の雑貨を多数掲載しています。新入荷の商品も続々追加していきます！オンラインショップ限定のサプライズイベントも企画していますので、ぜひチェックしてくださいね。

　また、スウェーデン交流センターの賛助会員にご入会いただくと、年度内のお買い物がいつでも優待価格でご購入いただけるほか、特別キャンペーンへのご招待など、賛助会員様だけの特典をご利用いただけます。「ミュッケ」オンラインショップからもご入会のお申し込みが可能です。
この機会にぜひご入会ください。

皆さまのご来店をお待ちしております！

★SCFの最新情報は
Facebook やInstagramでも
発信しています。スウェーデンの
さまざまな話題が満載！
ぜひチェックしてくださいね。↓

一般財団法人 スウェーデン交流センター
Swedish Center Foundation
061-3777 北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ2329番地25
✉ mycket@swedishcenter.or.jp　電話 0133-26-2360（火曜休館）
swedishcenter　@swedishcenterfoundation

SCF REPORT

ＳＣＦイベント報告

下川町クッブ体験会／講演会報告

８月29日（月）に、下川町教育委員会の依頼を受けてＳＣＦスタッフが下川町に赴き、スウェーデンの伝統的な野外の遊び「クッブ」を体験してもらう体験会と講演会に講師として参加しました。

当日は薄曇りで暑くならず、外でスポーツをするには丁度よい気候となりました。参加された皆さんからは概ね好評をいただき、体験会の終了時間になってもまだやりたいという子どももいて、終了時間を延長するなど、最後まで楽しんでもらうことができました。

国際ルールに則って実際にゲームをやりましたが、細かいルールは遊びながら。

国際大会も開催されるなど、世界各地でおこなわれています。

続いておこなわれた講演会では、クッブがどのようにスウェーデン人の日常生活で使われているか、クッブの世界大会などの国際的な催しや教育現場での活用などといったことからＳＣＦでの取り組みなどのお話をさせていただきました。

講演会に参加された方も熱心に耳を傾けてくださり、クッブの素材のことや、下川町でクッブをを作ってみては…など、面白い質問や意見、アイディアが聞かれました。

今回の体験会／講演会をきっかけに、よりクッブが広まっていってほしいと思います。

小さな子どももクッブを当てるのに集中していました。

スウェーデンの幼稚園では、実際にクッブを使った活動が実践されています。

発見力
つながりをみつける力

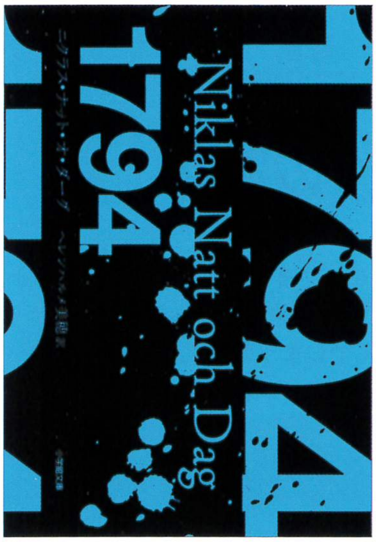
[業務内容]
美術、書道作品集・記念誌・町史・チラシ・ハガキ・
パンフレット・自費出版・インターネット事業・
各種イベント　他

NAKANISHI PRINTING CO.,LTD.
中西印刷株式会社
〒007-0823 札幌市東区東雁来3条1丁目1番34号
TEL（011）781-7501 FAX（011）781-7516
http://www.nakanishi-printing.co.jp/

～ SCF 図書コーナー～

スウェーデン気鋭の小説家ニクラス・ナット・オ・ダーグ氏による北欧ミステリー小説「1793」の続編がこの秋連続刊行！

「1794」



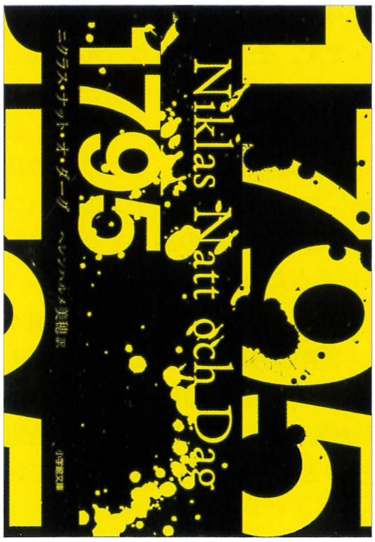
ニクラス・ナット・オ・ダーグ　著
ヘレンハルメ美穂 訳

出版社　小学館
価格　1,430 円（各税込）
判型 / 頁　文庫判 / 640 ページ

フランス革命の影響を受け、陰謀と暴力、貧困と死に満ちた 1794 年のストックホルム。その前年、カリブ海に浮かぶ植民地サン・バルテルミー島での過酷な日々を終えて故国に帰還した若者エリックは、幾多の困難を乗り越え将来を誓い合った娘リネーアと、ついに夫婦となろうとしていた。しかし幸福の絶頂である婚礼の日の夜、エリックは地獄へと突き落とされる。戦場帰りの風紀取締官カルデルと、亡き相棒の弟エーミルは共に深い傷を抱えながらも、人のなりをした怪物の正体を暴くため、暴力と奸計渦巻く北の都を奔走する――。

スウェーデン発の大ベストセラーにして、日本のミステリーファンに大きな衝撃を与え絶賛された『1793』。その続編がついに日本に初上陸！混沌の時代に正義を貫かんとする者たちを描く、超弩級の歴史ミステリー第二弾。

「1795」 2022 年 10 月 6 日（木）発売



ニクラス・ナット・オ・ダーグ　著
ヘレンハルメ美穂 訳

出版社　小学館
価格　1,364 円（各税込）
判型 / 頁　文庫判 / 592 ページ

フランス革命の影響は未だ色濃く残り、暴力と奸計が常態化していた 1795 年のストックホルム。事件を捜索することで立ち直りつつあった戦場帰りの引っ立て屋カルデルと心を病んでいた学生エーミル。彼らの善意が招いた悲劇によって、前年に多くの命が失われた。彼らと、幸せを願いながら愛する子どもたちを手放したアンナ・スティーナは一瞬にして打ちのめされ、絶望の大きさに動くことすらできなくなっていた。一方その悲劇によって追い詰められた怪物は、自らの起死回生を賭けたおぞましい計画を立て、さらなる惨劇が起きようとしていた。

戦争、暗殺、人権蹂躙。腐敗しきった 18 世紀末の北の都と、その中で己の正義に従い生きる者たちを力強く描き、北欧ミステリーの歴史を塗り替えた至高の三部作、堂々の完結篇！

連載寄稿

ソフィア・ヤンベリのスウェーデン便り

Brevet från Sverige by Sofia Jernberg

寄稿：ソフィア・ヤンベリ

Andra 第２回　夏の終わり、新しい年度の始まり

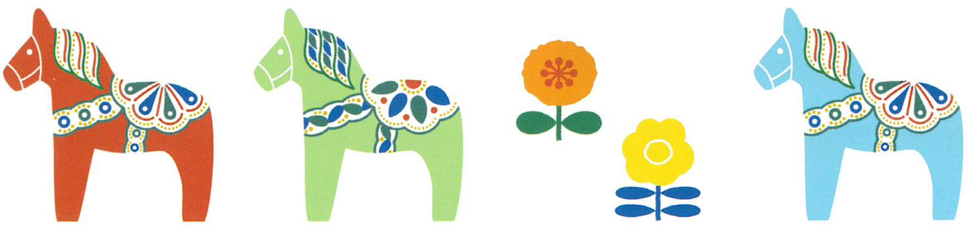
皆さん、こんにちは！ソフィア・ヤンベリです。前回の「お便り」は、夏の始まりの６月に書きました。今回は９月の始まりに書いています。夏はあっという間に過ぎ去ってしまいましたね。スウェーデンの今年の夏はとても暑くて、長かったです。夏の日差しと陽気が大好きなスウェーデン人は、気温が20度以下になると落ち込んでしまうのですが、今年は暑かったので、逆にみんな安心したようです。こういうところは日本人とはちょっと違うかもしれませんね。

スウェーデンの総選挙は９月11日。スウェーデン国内だけでなく世界中の人がこの結果に関心を寄せています。

今このお便りを書いているのは９月上旬ですが、もうじき… 11 日に実はとても重要なことがあります。それは、スウェーデンの総選挙です。

この記事を書いている時点では、総選挙の結果がまだ分からないのですが、この皆さんへのお便りがビョルクの記事になって、皆さんに読まれている頃には結果は出ているのでしょうね。スウェーデンの政治は、これからどう変わっていくかを見るのが楽しみです。そして、もちろん緊張もしています。何か月前から、どこへ行っても政治の話でもちきりです。家族が集まる時でも、友達に会う時でも、会社のフィーカの時ですらも…正直に言うと、もう政治の話に少し飽きてきてしまいましたが、スウェーデンではいつもこんな風にオープンに、誰とでも政治の話をすることができます。それはとても良いことだと思っています。

前回の総選挙の時よりも、今回の方が政治家の方々も、国民も、みなさん緊張しているように感じます。現在、世界中の国々に影響を及ぼしている様々な問題があることを、皆さんももちろんご存知だと思います。２月から続いているウクライナでの戦争、インフレーション、電気料金の高騰（ちなみに私の去年の１か月の電気のインボイス（請求金額）は、100 クローナぐらいでした。それが一番最近のインボイスは、なんと 325 クローナにもなっていました）。そして気候変動の問題も忘れてはいけませんね、多くの人が不安を感じるのが、環境問題だと思います。スウェーデンと世界、どちらも安定していることを望む国民にとって、今年の総選挙はやっぱり重要性を感じるのでしょう。



しかし、世界各地が不安定な状態であったとしても、日常生活が続いていきます。

日本では、入学式などは４月に行われるのですが、スウェーデンでは、秋が新しい学期（日本で言うと年度でしょうか）の始まりです。入学式を迎えるなど、４週間ほどの夏休みが終わり、スウェーデン人は９月に新しい日常が始まるか、もとに日常に戻るのです。８月になると悲しい気分になってしまう人もいます。でも、楽しいこともたくさんあります！パーティーなどもたくさんあります。例えば、皆さんもご存知のスールストロミングパーティーや、ザリガニパーティーなどです。

スールストロミング Surströmming は、発酵された魚（ニシン）で、世界の一番臭い食べ物だそうです。現在のスウェーデン人、特に都会の人はもうほとんど食べる習慣がありませんが、年に一回だけに伝統として食べることがよくあります。魚は、ジャガイモとパンで食べます。スウェーデン交流センターでも、確かスールストロミングのイベントがありましたね！

スールストロミングのパーティーのほかには、ザリガニパーティーは盛大におこなわれます！ザリガニは、とても人気な食べ物ので、みんなが毎年楽しみにします。日常生活に食べるものではないので、この場合のやっぱり、年に一回のパーティーです！ザリガニーティーは大体８月に、スールストロミングパーティーは大体８月から９月に行われますので、パーティーたくさんの時期です。ザリガニ、チーズパイ、サラダなどをよく一緒に食べる光景を目にしますね。

そして、みなさんお酒もたくさん飲みます！スウェーデンの伝統のお酒、スナップス Snaps（アルコール度数 40％！）が伝統的ですね。しかし、このスナップスを飲む前に、みんなで先に歌を歌うのがお決まりです！スウェーデン交流センターのザリガニパーティーやスールストロミングパーティーに参加したことのある方は、「ヘーラン・ゴール Helan går」などの歌を聞いた、または歌ったことがあるかも知れませんね。

この時期には楽しいことがたくさんあるおかげで、秋の始まりもとても楽しくなります。

個人的には夏の暑さより、秋の涼しい風と、綺麗な紅葉の方が好きです。紅葉はまだですが、これから自然がより綺麗で鮮やかな時期になっていきますね。今年はスウェーデンの紅葉も、2019 年から見られなかった日本の紅葉も見られそうで、今年の秋はとても楽しみにしています。

Author ・・・ ソフィア・ヤンベリ Sofia Jernberg

1993年ストックホルム生まれ。ストックホルム大学日本研究学科在学中の2013年に初来日。南山大学に留学後、帰国してストックホルム大学を卒業。2016 ～ 17 年上智大学に留学。2018 年～ 19 年スウェーデン交流センター（北海道当別町）に勤務。現在、スウェーデンの特許法律事務所に勤務。『ぼくが小さなプライド・パレード 北欧スウェーデンの LGBT+』の著者。

SCF REPORT

明治大学 国際日本学部

鈴木研究室のみなさんがいらっしゃいました

東京の中野区にある明治大学国際日本学部から、鈴木賢志教授と鈴木研究室の学生のみなさんがお越しになり、スウェーデンヒルズで合宿をされました。例年本場北欧で合宿をされているとのことですが、新型コロナウイルスの影響で海外への往来が容易ではないということもあり、代わりに国内での合宿地として当地が選ばれました。

8月 23 日（月）から 25 日（水）まで２泊３日の日程で、スウェーデンヒルズの概要やそのなりたちや現況、スウェーデン交流センターについて学ばれたほか、当別町内ふれあい倉庫ではスウェーデンヒルズがある当別町と姉妹都市であるレクサンド市の交流の歴史についても学んでいかれました。

３日間スウェーデンヒルズで過ごしていかれましたが、当地を初めて訪れる学生さんがほとんどで、まるでスウェーデンに来たかのようなヒルズの街並みと、ＳＣＦ各施設でのスウェーデンに関する展示や工芸品を見ることで、本場の雰囲気を味わうことができたとの感想をいただきました。

今回鈴木研究室の皆さんは、施設見学だけでなく食文化の体験もしたいということで、ザリガニパーティとスールストロミングの試食もしていきました。スールストロミングの臭いと味は初めての方の多かったようで、缶を開けた時にはその臭いに様々な反応をしていましたが、楽しかったと総じて好評のようすでした。

今回は参加した学生さんから感想を寄せていただきましたので、この場でご紹介したいと思います。

スウェーデンヒルズに滞在させてくださり、ありがとうございました。

スウェーデンヒルズは、まるで日本ではないような感覚をもたらしてくれ、緑の多さと空の青さ、程よい涼しさがマッチして居心地が素晴らしかったです。伸び伸びと過ごすことができる環境なので、もっと長く滞在したいと思いました。また、交流センターの施設を見学し、スウェーデンの遊びを体験させていただき、スウェーデンの日常に触れることができました。貴重な体験をありがとうございました。特に、スウェーデンの遊び『クップ』は思うように投げられず、難しかったですが、とても楽しかったです。日本に似ている遊びはないと思うので、是非他の方にも体験してもらいたいと思いました。シュールストレミングを開封した際は、補助に入っていただきながら、これまでに味わったことのない強烈な体験をさせていただきました。

滅多にできないような体験ばかりさせていただき、本当に充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

（Ｓさん　４年）

今回初めて当別町に訪問して、当別町が日本の人々に更に知られることで、北欧の魅力も伝えることが出来るのではないかと考えました。スウェーデンの住宅を再現し、コンクリートではなく木をメインとした住宅に滞在した事で、都会のコンクリートまみれの中で生活している私にとって気持ちをリフレッシュする良い機会となり、私のように都会に住んでいる人々にとって必要な場所ではないかと考えます。また、スウェーデン交流センターでシュールストレミングを開けた事が鮮明に記憶に残っています。これは私が鈴木ゼミに所属し、今回の合宿に参加しなければ一生体験することが出来なかった経験なので、参加して本当によかったです。当別町の役場の方とディスカッションをした事が少しでも実現できるように後期のゼミで考えていきたいと思います。

（Ｏさん　４年）

スウェーデンヒルズの街並み、自然の緑と家の色のコントラストが非常に綺麗だったのがとても印象に残っています。少しの間滞在して、スウェーデンヒルズに移住してくる方々は、緑に囲まれたゆったりとした時間や、周りにあまり干渉されない自分たちだけの空間を求めているのかなと感じました。

交流センターでは、ガラス体験など文化に触れることが出来る機会があるのがとても良かったです。

また、当別町は、レクサンドへ留学する際に費用などをまかなってくれると聞き、学生の目線から考えて、積極的に関わりや交流を持つことが出来るのはとても嬉しい制度だと感じました。今はコロナでなかなかお互いが顔を直に合わせて交流をするのは難しいですが、これから交流できるようになった際、機会があればまた足を運びたいなと思いました。

（Ｉさん　４年）

ヒルズ滞在二日目の午前は、当別町ふれあい倉庫で当別町役場の方から当別町とレクサンド市の交流の歴史について話を聞いたあと、スウェーデンとの交流についてのディスカッションもおこなわれました。

コロナ禍やリモートワークの広がりで地方移住の機運が高まる中、スウェーデンヒルズは景観や住民同士の繋がりなど、素敵な空間だと思いました。決して便利な立地ではないけれど、不便さの中に、都心にはない何かがある、というお話がとても印象的でした。

クッブやシュールストレミングなど、楽しいアクティビティも用意していただき、ありがとうございました！夏の良い思い出になりました。

（Fさん　4年）

スウェーデンヒルズでは、日本国内にいながら、スウェーデンの雰囲気を存分に感じられる貴重な経験をすることができました。スウェーデンハウスでの宿泊体験だけでなく、食文化や工芸品などにも触れることができ、スウェーデン気分を満喫することができました。

また、当別町はレクサンドと文化的な交流も活発的に行われていることを知り、様々な分野でスウェーデンと日本をつなぐ大切な役割を果たすことができると感じました。

（Wさん　4年）

ガラス制作体験ということで、ペーパーウエイト作りに取り組みました。

スウェーデンヒルズの滞在では、本当にスウェーデンにいるかのような雰囲気を感じることができました。散策をした際には、ご夫婦や犬の散歩をされている方と多くお会いし、ゆったりとした時間が流れているように感じました。

また、レクサンド市との関係に関して、このような状況の中でも様々な工夫をして交流していらっしゃる様子をお伺いし強い絆を感じました。今回は非常に貴重な機会をいただいたので、今後私たちのゼミが何か少しでもお役に立てる機会があればとても嬉しく思います。

友人と将来移住したいねと話していたほどとても素敵な街でした！ありがとうございました。

（Uさん　4年）

羽田空港から2時間ほどで着く当別町には、東京では決して体験することのできないスウェーデンの街並みや手つかずの自然がありました。またスウェーデン交流センターで食べた「ザリガニ」の味や「シュールストレミング」の匂いは一生の思い出です。当別町でしかできない体験が沢山できました。ありがとうございました！

（Fさん　3年）

SCFの説明をした後に、外でクッブの体験もおこないました。
みなさん当てるのが上手ですね！

国内でここまでスウェーデンの文化に触れることができることに感動しました。まるで本場スウェーデンのような景色が広がっており、現在のようなコロナ禍で海外に行けない人々も気軽に北欧気分を楽しむことができるので、日本の人々により当別町が浸透してほしいなと思いました。

交流センターに関しては、シュールストレミングを開けたことが1番の思い出です。ゼミとして一つの思い出を共有できたことはとても良かったと思います。またクッブも体験できてとても楽しかったです。スウェーデンにルーツがある職員の方から現地のことについて聞けたことも良い経験となりました。

鈴木ゼミとして初めて当別町にお邪魔しましたが、鈴木ゼミと当別町が連携しながら何かしていけたらとっても嬉しいです。

（Hさん　4年）

印象に残っているのは3つです！

1つ目は人生で初めてシュールストレミングを開けて食べたことです。あの衝撃的な臭いを忘れることはありません。笑

2つ目はガラス体験です。何度もガラスを巻き直し、手直しをしていく作業はとても難しかったです。また、職人さんのプロの技術を間近で見れて光栄でした！

3つ目は宿舎の設備です。本当に過ごしやすくて感動しました！このような素敵な場所に破格の値段で泊めていただいて感謝の気持ちでいっぱいです！

たくさんの貴重な経験をありがとうございました！

（Yさん　4年）

最後はおまちかね？のスールストロミングの試食です。
缶を開けた時の臭いと反応は…ご想像におまかせします。

＜鈴木教授より＞

かつては毎年ゼミでスウェーデンを訪れていたのが、コロナ禍のためにここ数年それがかなわず、せめて…というつもりで企画した今回の合宿でしたが、当別町、スウェーデンヒルズ、スウェーデン交流センターの皆様より格別のご厚意を賜りまして、楽しく充実した時間を過ごすことができ、学生たちにも良い思い出を残すことができました。今回の合宿をご縁に、これからいろいろな協働の活動をさせていただければと思っています。本当にありがとうございました！

特別企画　スウェーデン交流センター広報誌「ビョルク」150 号記念企画

Björk これまでのあゆみ ⑥

この広報誌「ビョルク」は、これまで多くの方のご協力のもとに作られ、SCF の活動を紹介するだけでなく、スウェーデンの文化や経済を紹介してまいりました。

150 号から６回にわたって「ビョルク」の表紙をご紹介してきましたが、最終回となる第６回は、第 137 号から前号第 155 号までをご紹介します。SCF を設立時からご存知の方も、新たにこの広報誌をご覧になった方も、当時の様子に想いを馳せていただけたらと思います。

第137号

2018 年１月１日発行

第 137 号
Björk
－ビョルク（白樺）－

第138号

2018 年４月 20 日発行

第 138 号
Björk
－ビョルク（白樺）－

第139号

2018 年７月 10 日発行

第 139 号
Björk
－ビョルク（白樺）－

第 140/141 号

2019 年１月１日発行

第 140・141 合併号
Björk
－ビョルク（白樺）－

第142号

2019 年４月１日発行

第 142 号
Björk
－ビョルク（白樺）－

第143号

2019 年７月１日発行

第 143 号
Björk
－ビョルク（白樺）－

第144号

2019 年 10 月１日発行

第 144 号
Björk
－ビョルク（白樺）－

第145号

2020 年１月１日発行

第 145 号
Björk
－ビョルク（白樺）－

2018 年は日本とスウェーデンが外交関係を樹立して 150 年となる節目の年であり、同時にＳＣＦとしても設立 35 周年となる記念の年でもありました。10 月には設立 35 周年を記念して、ＳＣＦが招聘したスウェーデン人工芸家やＳＣＦ木工房、ガラス工芸工房で活躍された日本人工芸家のみなさんによる合同展「35år「トレッティフェム・オール－日瑞ガラス・木工作品展－」を開催しました。

第146号

2020 年 4 月 1 日発行

第147号

2020 年 7 月 1 日発行

第148号

2020 年 10 月 1 日発行

第149号

2021 年 1 月 1 日発行

第150号

2021 年 4 月 1 日発行

第151号

2021 年 7 月 1 日発行

第152号

2021 年 10 月 1 日発行

第153号

2022 年 1 月 1 日発行

第154号

2022 年 4 月 1 日発行

第155号

2022 年 7 月 10 日発行

スマートフォンをお持ちの方は、ビョルクのバックナンバーをこちらからお読みいただけます。

～ SCF 図書コーナー～

医療・福祉・教育・社会がつながる
スウェーデンの多様な学校

子どもの発達を支える多職種協働システム

サリネン れい子　著

出版社：かもがわ出版
価格：1,800 円＋税
Ａ５/ 152 ページ

スウェーデンの基礎特別支援学校で働く著者が見聞きし、体験してきた、子どもや若者の健やかな成長と、学びと発達の権利を保障する協働と連携のシステムを、多様な専門職と施設や機関が、一人の子どもと家族にかかわる事例をとおして具体的に描く。

≪YAMAKAWA SELECTION≫
北欧史 上・下

デンマーク・ノルウェー・スウェーデン・
フィンランド・アイスランド

百瀬 宏・熊野 聰・村井 誠人　編

出版社：山川出版社
価格：各 1,430 円（税込）
Ｂ６変（120×182mm）/ 上巻 336 ページ・下巻 304 ページ

『新版世界各国史 21　北欧史』を上･下巻のハンディ版としてリニューアル。現代までの研究動向を踏まえ、特にカナ表記を原音にできる限り近づけて一新するなど、全体を通して修正を加えての刊行。

北欧の国々は周辺の大国とのパワーバランスの前にどのように立ち回り、いかにして「幸福度」の高い社会をつくり上げたのか。
環境問題、世界平和、男女平等など、さまざまな課題において、いまや世界をリードする北欧各国の歴史の積み重ねをみつめる。

上巻では、先史時代から 19 世紀半ばまでを扱う。下巻では、19 世紀後半以降を扱い、21 世紀に入ってからの動きを新たに加筆した。ウクライナ情勢を受けて西洋諸国とロシアの間で揺れる直近の北欧の状況についても、史料批判がまだ十分に及んでいない段階ではあるものの、現状での記録として可能な範囲で追記している。

旅のヒント BOOK

ストックホルムと小さな街散歩

スウェーデンへ

田中 桜　著

出版社：イカロス出版
価格：1,870 円（税込）
Ａ５判 / 176 ページ

北欧最大の都市ストックホルムは、東はバルト海、西はメーラレン湖に面し、大小 14 の島から成る美しい水の都。厳かな中世ヨーロッパの面影を残す街並みとオシャレなショップがひしめく都会のすぐ隣に、緑豊かな公園や白鳥が水遊びをする穏やかな湖が広がり、少し足をのばせば、針葉樹の森と、伝統的な赤褐色の家々が軒を連ねるかわいらしい田舎町が点在しています。

本書では、石畳の趣のある世界遺産の旧市街や森の墓地、360 度本に囲まれた図書館や 1957 年にはじまり今も進化を続ける地下鉄アートプロジェクトをはじめ、最先端のデザイングッズからヴィンテージの陶磁器や衣類まで幅広いショップや蚤の市、デザインホテルから極上のレストランやカフェ、バーまで、ストックホルムの見どころを現地在住の著者がたっぷりご案内！陶磁器の町グスタフスベリや、世界最大のイケアのあるクンゲンス・クールヴァなどストックホルムから日帰りで行ける個性的で素敵な５つの街、そして、映画『魔女の宅急便』の舞台とも囁かれるスウェーデン最大の島ゴットランドと、美しいダーラナ地方の小さな町もご紹介。さらに、北欧ヴィンテージ雑貨のオンラインショップを運営する著者ならではの、北欧ヴィンテージの深い魅力や選ぶ際のポイント、新旧の注目ブランド紹介も掲載しています。

幸福度の高いスウェーデン人の考え方や、フィーカの文化と甘いものなど、いろいろな切り口のコラムも散りばめ、どっぷりスウェーデン気分を味わえる一冊です。

著者 田中桜さんの
YouTube チャンネルはこちらから！

https://www.youtube.com/watch?v=6TesAeXSTYw

スマホ脳

アンデシュ・ハンセン　著
久山 葉子　訳

出版社：新潮社
価格：1,078 円（税込）
新潮新書 / 255 ページ

平均で一日四時間、若者の二割は七時間も使うスマホ。だがスティーブ・ジョブズを筆頭に、IT 業界のトップはわが子にデジタル・デバイスを与えないという。なぜか？睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存――最新研究が明らかにするのはスマホの便利さに溺れているうちにあなたの脳が確実に蝕まれていく現実だ。教育大国スウェーデンを震撼させ、社会現象となった世界的ベストセラーがついに日本上陸。

賛助会員入会のお願い

一般財団法人スウェーデン交流センターは、ガラス作品や木工作品の制作などを通して多方面での交流を行うとともに、夏至祭、ルシア祭、各種展覧会など、年間を通して様々な催しを行い、スウェーデン文化の紹介を積極的に行なっています。

これらの催しは、当センターの趣旨にご賛同くださる皆様のご厚意によって支えられております。賛助会員の皆様には、この広報誌『ビョルク』を年4回ご自宅まで郵送いたしますほか、センター主催のイベントへのご招待や当センターガラス工房制作の吹きガラス販売品・スウェーデン雑貨を優待価格にてご案内しております。ぜひこの機会に賛助会員にご入会下さいますよう、よろしくお願いいたします。

賛助個人会員	年会費	一口	5,000円
賛助法人会員	年会費	一口	20,000円

あとがき

●今夏は新型コロナ第７波のただ中だったこともあり、ザリガニパーティやスールストロミング試食会といった従来のイベントを開催することはできませんでしたが、８月下旬に当別町に来た明治大学の学生さんたちは、スウェーデンの食文化体験ということでスールストロミングを試食していきました。初めてのスールストロミングはいかがだったでしょうか？ぜひまた来てくださいね！

●10月中旬には2019年以来となる当別スウェーデンマラソンがスウェーデンヒルズで開催されます。今回は10月の開催となりますが、参加者の皆さんにはスウェーデンヒルズの秋を楽しみながら走ってほしいですね。